板橋稲門会

板橋稲門会会報　第15号
平成25年4月25日
発行 板橋稲門会事務局
〒173-0036
板橋区向原1−22−11鷹觜方
TEL & FAX 6789-3343
http://www.i-toumonkai.jp/
http://www.facebook.com/ita.toumon

▲平成24年度総会ご報告▼

マンドリン演奏と和やかな懇親を楽しむ。

平成24年5月15日午後6時より「板橋区立文化会館」にて開催。

第1部総会の司会は北島副会長。大鹿副会長の開会の辞に続き、渡辺会長が挨拶を行ったあと、渡辺会長を議長に選出し、議事に入った。鷹觜幹事長の事業報告と事業計画、田上会計幹事の会計報告、白鳥監査幹事の監査報告、恩田会計幹事の予算案説明があり、いずれも全会一致で可決され、北島副会長の閉会の辞で無事終了した。

渡辺 直幸 会長

第2部の司会は村上常任幹事。まず渡辺会長の挨拶のあと、早大根本地域担当部長に祝辞をいただいた。部長より年間4学期制（クオーター制）につき説明。続いて豊島稲門会の石川会長より来賓を代表しての祝辞をいただいた。中村常任幹事の乾杯の音頭のあと、懇談に入った。

今回のアトラクションは早大マンドリン楽部（現役8人、OG1人）による演奏会。閉会時間が来たので、田中（康）副会長のリードで校歌を斉唱。菅原副幹事長の閉会の辞で終了した。

出席者
〔来賓〕
早大　根本 進 地域担当 兼 教務部事務部長
北稲門会　飯野嘉一郎会長
文京稲門会　内田佑司会長
豊島稲門会　石川宜司会長
中野稲門会　横沢国夫副会長
千代田稲門会　山川裕美子幹事
〔会員〕48名
記・龍田 幹雄（30年 理）

板橋稲門会
25年度イベントご案内

一緒に楽しむイベントが好評のため、よりいっそう充実した企画内容で開催していきます。

板橋稲門の集い（平成25年総会・懇親会）5月18日(土)
23区支部大会
2014年3月9日(日)　ぜひご参加を!
稲門祭・ホームカミングデイ 10月20日(日)
ゴルフコンペ
4月4日(終了)、9月19日(木)、11月13日(水)
ウォーキングの会
4月21日(日)、11月9日(土)、
2014年3月29日(土)
音楽の集い 日程調整中(年2回以上開催予定)
板橋花火観賞会 8月3日(土)
食べ歩きの会 2014年3月15日(土)
(年2回開催予定)
スポーツ観戦 10月27日(日)：野球・早慶戦
12月1日(日)：ラグビー・早明戦
会員懇親会 8月31日(土)：納涼会
囲碁の会 1〜2ヵ月ごとに開催
区内工場見学会(新企画) 日程調整中
板橋稲門の集い(平成26年総会・懇親会)
2014年5月17日(土)予定　5月14日(水)予備日

※上記日程は変更になる場合もあります。

★返信ハガキの希望イベントに○を付けていただくと、事前にご案内を差し上げます。ホームページ、フェイスブックにも掲載しますので、折にふれてチェックしてください。

ホームページ　http://www.i-toumonkai.jp/
フェイスブック　http://www.facebook.com/ita.toumon

◎東京23区支部長区◎
早稲田大学校友会「東京都23区支部長区」担当について

平成25年度は、板橋稲門会が23区支部長区を担当します。

23区支部は、全国で一番規模の大きい校友会でその運営は1年ごとの輪番制で行われております。

支部長区の担当を前に、板橋稲門会として渡辺会長並びに役員各位のご協力による組織強化のためのワーキンググループを中心に一つ一つ積極的に活動し体制を固めてきました。

支部長区担当の役割は、母校の発展に寄与することと会員相互の親睦を深化することに資することです。そのための大きな役割は、① 23区支部としての運営に関する懸案事項の取りまとめ ② 稲門祭（ホームカミングデイと同日開催）を盛り上げること ③ 23区支部大会の中心的役割を果たすことです。

特に、23区支部大会は例年およそ300名の会員が参加する大イベントです。

板橋稲門会として役員を先頭に、是非一人でも多くの会員の絶大なる応援をいただきたく思います。よろしくお願いいたします。

板橋稲門会 幹事長　**鷹觜 愼吾**

▼板橋稲門会ゴルフ▲

★第25回ゴルフコンペ

平成24年4月4日(水)高坂カントリークラブ

優勝・斎藤　友一氏（50年 文）

遡ること35年前ゴルフを始めて間もない頃高坂カントリーでプレー、やっと100を切れる頃だったと思う。ゴルフ場はすっかり様変わりし記憶に残っているホールは一つもなし。樹木は巨木になり難しさはかなりのもの。スコアは96ストローク、35年前と大してかわらずも、ハンディに恵まれ初の参加で初優勝。実に楽しい1日でした。ゴルフの楽しさに魅せられた一人として生ある限りゴルフ場に通う積もりです。今後も楽しいお付き合い宜しくお願いします。

第25回ゴルフコンペ成績

			グロス	ハンデ	ネット
優勝	斎藤	友一	96	(14)	82
準優勝	乗光	弘二	101	17	84
3位	並木	正道	112	28	84

★第26回ゴルフコンペ

平成24年9月27日(木)

さいたま口イヤルゴルフ倶楽部おごせコース

優勝・恩田　通夫氏（46年 教）

台風18号接近の中、総勢17名という人数が揃い、1組目がスタートして行きました。

結果的には心配とは裏腹に雨も降らず一日中快適にプレーが出来ました。

私たちの第4組がいよいよスタートの時間、その間ハラハラ、ドキドキで少々緊張気味ではありましたが、山田さん(58理)の豪快なショット、続いて慎重派の小澤さん(H12法)、右に曲がった私、それぞれ特徴のある第1ショットでスタートしました。

この日は、何だか前半は本来の私ではなく、調子がよくてハーフ42で回り、一番驚いているのが当の本人でした。昼食には、いつもそれほど飲まないビールなど飲んで(いつもなら後半はこれで崩れる)、気を良くして午後のハーフにのぞみ、まずまずの後半を終了しました。成績発表では、なんと優勝という思いもかけない結果でありました。ゴルフの神様に感謝、感謝です。

多くの強豪がいる中で優勝することが出来たことは、この上もない歓びであります。ますます精進して、楽しいゴルフを目指したいと思っております。

第26回ゴルフコンペ成績

			グロス	ハンデ	ネット
優勝	恩田	通夫	87	13	74
準優勝	乗光	弘二	94	17	74
3位	岡田	豊	83	7	75

★第27回ゴルフコンペ

平成24年11月12日(水)高坂カントリークラブ

優勝・田中　暁子氏（田中巌氏夫人）

主人の大先輩方とご一緒するのでご迷惑をかけてはいけないと思い無我夢中でラウンドしました。高坂CCの名キャディーに落とし所やラインの読み方をしっかり教えてもらえたせいか、いつも以上の出来ばえにつながりました。

ゴルフコンペは緊張しますが、私はその後の祝賀会?反省会が大好きで、ここでも早稲田カラーをじっくりと楽しませていただいています。「集うよろこび」と「和やかな会」に参加できたことを感謝します。

第27回ゴルフコンペ成績

			グロス	ハンデ	ネット
優勝	田中	暁子	97	30	67
準優勝	山田	壮晃	106	26	80
3位	乗光	弘二	99	17	82

▼第16回ウォーキングの会▲平成24年4月15日(土)

彩湖とさくら草を楽しむ

鷹觜　愼吾
(37年 商)

西高島平駅を8時30分に快晴風もない中、新会員3名含め23名は彩湖に向け出発。荒川にかかる笹目橋を渡る。少々道は狭く歩行者、自転車での通行者に注意し荒川左岸に出る。

そこからは土手を歩くコースで、左手には荒川のゆったりした流れの中を競技用のエイト艇が波紋を残し行き来しており、遠くには山並みを見ながら、更に下流には遠く戸田市、蕨市の高層住宅また雨後の生き生きした草木を眺めながらの最高のウォーキング日和。

しばらく行くと、左側には取水堰をその先は右手に街中では見ることのできない汚水処理場を見て、荒川と彩湖を結ぶ幸魂大橋の下を通り自然観察館に到着した。気持ちの良い温度も少々暑さを感じるようになった。

この観察館は荒川の自然を構成する動植物の生態の変遷、治水状況等幅広く勉強するには格好のところと感じた。このように素晴らしい施設のあることさえ知らなかった私にとって目からうろこのとれた思いがした。

また眼下に広がる彩湖公園の全貌が見られ桜の花もまだまだあちこちで存在感を示していた。

彩湖では、模型ヨットのレースをしている光景も見ることができほんとに春を満喫させる光景であった。彩湖を渡り再び荒川の左岸を雉の鳴き声、鶯のさえずりを聞き、菜の花の黄色の絨毯を眺めながらさくら草公園(正式には、田島が原さくら草公園)に到着した。

さくら草の自生地は当所だけということで多くの人が集まり、一面とは言えなかったけれどピンクの花が黄色のウルシの花の中に咲いていた。

一人の落後者もなく気持ちよく、心地よい疲労感を感じつつ志木駅そばの「魚久」にて懇親会後、次回を楽しみに散会した。

▼第17回ウォーキングの会▲平成24年11月10日(土)

懐かしの〝都電〟三ノ輪橋から一葉〝たけくらべ〟ゆかりの地・吉原を巡る

北田　はれ子
(36年 教)

霜月十日土曜日。快晴、参加者19人(ご家族含め)、名づけて「懐かしの〝都電〟三ノ輪橋から一葉〝たけくらべ〟ゆかりの地～吉原を巡る」。

メダマの最初は都電に乗ること(強制ではないが)。なんで都電、というムキもあろうが、このようなノスタルジックな催しでもないと、わざわざ乗ってみようという気になりにくい。生涯の後半に一度だけ、生をうけた昭和の時代にしばし戻ってみるのも素敵ではないか。

次のメダマは樋口一葉である。代表作『たけくらべ』の舞台竜泉寺とその界隈、一葉の旧居跡、記念館等、一葉文学の跡を訪ねる。同館では15分程レクチャーをしていただい

た(予約)。これが、単なる見学にとどまらず、一葉への理解を深める手がかりになって、好評であった。五千円札の功徳で来館者が増え、改装もできたという。

最後のメダマは旧吉原遊郭。『墨東綺譚』(永井荷風)を彷彿させるものは残っていないが、何代目かの見返り柳が一本、大(おお)門(たった一つの出入り口)近くにうら淋しく立っていて、これから訪ねる客を眺めている。彼は何を考えているのだろう。何を見てきたのだろう。問うてみたい風情であった。

女性は勿論男性でも、一人、二人では足を踏み入れづらいエリアで、こんな機会に見学できたことを多くの人が喜んでいた。〝下見〟などと戯言を言いながら、鷲神社を最後に浅草に向かう。浅草寺詣では昼食後それぞれにということにして、懇親会場のニュー浅草に入った。

この会場は、仲見世通りから一本東のメトロ通りに面した居酒屋。たっぷりの飲み物食べ物が、疲れた身心をたっぷり癒してくれた。

この日の訪問場所を記しておく。

①宗屋敷跡～②円通寺～③浄閑寺～④永久寺～⑤千束稲荷神社～⑥竜泉寺～⑦一葉記念館～⑧一葉旧居跡～⑨飛不動～⑩大黒屋の寮跡～⑪見返り柳～⑫吉原弁財天～⑬鷲神社～⑭浅草

▼いたばし花火大会観賞会▲平成24年8月4日(土)

夏はやっぱり花火だ

8月4日(土)に板橋花火大会が荒川戸田橋上流河川敷で開催されました。心配された雨も一時的で、会場も2年ぶりの大会であり、熱気にあふれていました。

午後7時、板橋区長の開会挨拶に始まり、次々に打ち上がる大迫力の花火に拍手と歓声が上がりました。

大会の途中には板橋観光協会会長の音頭による観客15万人との三本締め(こんなの初めての経験)により後半が始まり、光の花が夏の夜空に咲き乱れました。

終盤のナイアガラの滝、フィナーレの大万華鏡と続き、我々板橋稲門会も30名(家族を含む)、初めて参加される方もおり音と光の芸術に充分酔いしれたと思います。

北島 寿一
(40年 法)

▼新年懇親会▲平成25年1月12日(土)

未来へつながる喜びを共に

初めてのイベント企画「新年懇親会」は、板橋在住の若手校友会員と現役学生にも参加していただき、1月12日(土)にレストラン「西北の風」にて開催。和やかな雰囲気で懇親を深め、大変楽しい時間を過ごすことができました。

今回は、恒例となっている役員会終了後の「新年会」、12月に開催予定であった「グルメの会」、そして日頃ご無沙汰している会員の方にも気軽に参加して懇親を深めていただく趣旨の「第2回懇親会」をコラボした会となり、総勢52名の参加でした。

今回は是非とも早稲田大学23号館の大隈記念タワー15Fにあるレストラン「西北の風」で開催したいとの強い思いから実現に至りました。久し振りに母校を訪問した会員もおられ、大隈記念タワーの15Fからは大学構内、大学界隈やスカイツリーも見ることができ、感慨もひとしおであったことと思います。

新年懇親会は、渡辺会長の挨拶の後、飯田名誉顧問のご発声による乾杯、そして24年度新入会員4名・若手校友会員3名・現役学生13名の紹介と続き、その後は美味しい食事を楽しみながら、和気藹々で参加者同士の懇談、懇親の場となり、会員としても若手のみなさんから大きなパワーをいただきました。

また、西北の風を経営する「馬車道」の食事券やいたばしカルタが当たるお年玉を全員でジャンケンにて決める余興もあり、全員での記念撮影のあと、恒例の校歌を斉唱しました。後日、参加された学生にはアンケート回答をお願いしましたが、「先輩と学生同士が有意義な接点を持つことができて良かった」との感想を多くいただいており好評でした。参加者に喜んでいただける企画をさらに考えて行きたいと思います。

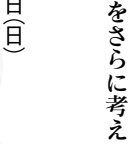
藤田 治
(44年 理)

▼第2回音楽の集い▲平成24年9月30日(日)

パイプオルガンの音色をサロンで愉しむ

第2回の音楽の集いはクラシックオルガンの演奏を聴いていただきました。クラシックオルガンは教会にあるパイプオルガンの音色を楽しむことができる楽器です。鍵盤だけでなく足を使い、そして助手の手を借りて両側についているストック(ノブ)を調整しながら音色を作っていくとても繊細な楽器です。

休憩時間には板橋稲門会特製のW刻印入りの和菓子をいただき会員相互の親睦を深めるとともに、奏者の江尻弘子さんにたくさんの質問が出ていました。他では味わえない音楽の楽しみが広がっています。



田中 巖
(56年 教)

▼第3回音楽の集い▲平成25年3月17日(日)

楽器の女王・グランドハープの愉しみを満喫

多くの会員の参加を得て、グランドハープの演奏を間近で聴ける催しが開かれました。ファンタスティックで心に染み入るような音色を堪能し、休憩時には実際にハープを弾かせて(?)もらったり、恒例の校歌もまたとないハープ伴奏で心と声を合わせて歌いました。演奏者の見尾田さま、毎回ステキな企画を考えて実施してくださる田中さま、ありがとうございました。

村上 奉文
(41年 文)

稲門祭・ホームカミングディ
創立130周年記念を迎えた校友の集い

今年の稲門祭は晴天にも恵まれ、大勢の校友が早稲田の杜で親睦を深めたビッグイベントでした。

正午から、大隈講堂の前でオープニングセレモニーがスタートし、トークイベントでは「被災地 からのメッセージ」をテーマの震災と復興のシンポジウムが開かれ、ミニコンサートではクミコさんが熱唱。例年通りのキャラバンツアーを始め、特売品の販売、オリジナルグッズの販売など。また、今回は震度7を体験するコーナーがあったほか、早大創立130周年ということもあり「大隈重信と小野梓展」の展示など盛り沢山の企画でした。

大隈庭園では例年通り東京都23区支部の模擬店出店があり、野外コンサートでは、OBによるジャズ・ハワイアンなどの演奏、現役学生のフラダンスやOBが指導したチビッ子チアリーダーの演技などがあり、和やかな雰囲気の中で、懐かしく、また微笑ましく感じられた内容のアトラクションでした。

また、当会への入会希望者が来られた成果もありました。板橋稲門会からは、渡辺会長他4名の計5名が参加しましたが、来年は当会が東京都23区支部の幹事となることから、板橋稲門会からは大勢の会員の方の参加をお願いすることとなりますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

記・鷹觜 愼吾(37年 商)

▼板橋区民まつり▲平成24年10月21日(土)・22日(日)

今年も区民まつりに出店！多数の新入会員情報を取得！

板橋稲門会は、今年も競争の厳しい抽選で当選し、区民まつりに出店することができたのは、黄金の右腕を持つ菅原副幹事長の功績です。しかし来年も出店できる可能性は限りなく低いという認識のもと、今回の成果をしっかり挙げられるよう真剣に検討を重ね、目的を「早大入学希望者への資料配布」と「当会の新入会員募集」とし、先ずは会員の方に新入会員候補の紹介を依頼、会場への同行をお願いし、会場で入会申込をしていただいた新入会員には当会25周年記念としてWASEDA記念キャップを進呈するという恩典をつけました。第2の企画は、若手校友会員の方にDMハガキを郵送し、公式フェイスブックページの閲覧と区民まつりへの来場を呼びかけました。お蔭様で、昨年を大幅に上回る9名の方に来場していただき当初の成果を挙げることができ、各会員のご支援、ご協力の賜物と大変感謝している次第です。

なお、恒例となりました古代エジプトのビールを再現した「ナイルビール」や「地ビール早稲田」の販売は、野田屋酒店さんの絶大なるご協力により、初日の夕方には「地ビール早稲田」の完売御礼の張り紙をするなど好調な売上を達成することができました。板橋区にナイルビールのブランドが浸透しつつあることを実感した次第です。また、会員各位には、出店準備や会場にての新入会員募集活動を手伝っていただくなど、絶大なるご協力をいただきましたこと厚くお礼申しあげます。

記・藤田　治

▼早慶戦観戦▲平成24年10月28日(日)

勝利を祝い、イタメシ屋で乾杯！

早慶戦観戦会が行われ板橋稲門会も応援に駆けつけました！雨が心配されましたが、試合中はほとんど雨が降ることはなく最後まで行われました。

試合は6対3で早稲田が勝ちました。優勝は逃しましたがいい試合だったと思います（ちょっと慶応のエラーは目立っていましたけど…）

試合後は稲門会としてはめずらしい青山一丁目のイタメシ屋で祝勝会を行いました。

幹事・林田重剛、山上郁雄

▼ラグビー早明戦観戦▲平成24年12月2日(日)

早明戦観戦記

板橋稲門会として初めて大学ラグビー早明戦観戦、今回の早明戦は記念すべき100回目の対戦とのことである。個人的には卒業以来であり、たいへん楽しみにしていた。ぞくぞくと人が集まってくる。ところどころに稲門会ののぼりが立っている。来年はぜひ、板橋稲門会の旗を立てようと強く感じた。場内ではすでに派手な応援合戦が繰り広げられていた。チアガールのアクロバティックな演技も堪能することができた。

ロスタイムのトライで、結局32対33と逆転負けを喫してしまった。しかも1点差である。明治に負けたのは4年振りだそうで、ものすごく悔しい思いで、がっくりと肩を落として帰路に着いた。結果的に帝京・筑波・明治の史上初の3校同時優勝となり、早稲田は4位に終わった。しかし伝統の一戦であり、直接観戦すると応援も含め迫力が違う。解説がないので分かりにくい面もあるが、ぜひ来年も来たいと思っている。例年、12月の第一日曜日に開催されているようなので、今から予定に入れておきたい。皆さんも、ぜひ御一緒しませんか。

山上 郁雄
(59年 理)

▼第9回食べ歩きの会▲
平成25年3月9日(土)・ダジュール大塚

隠れ家レストランで創作フレンチを堪能

菅原 光明
(45年 社学)

もっと大勢の会員に参加して欲しいという思いを込めて、今回から『グルメの会』改め『食べ歩きの会』と名称を変更しました。

会場は「ダジュール大塚」、創作フレンチのレストランです。中台のSB通りに面していますが、正面は高いブッロク塀に囲まれ看板も何もない、どう見ても普通の民家にしか見えません。実は、入り口は細い路地を曲がった裏手にあって分かり難いのです。こういうのを隠れ家的というのでしょうか。そのため店の前を通り過ぎて探し回ったという人が何人もいました。当日は風もなく大変温かな日和で、参加者は22名（女性5名男性17名）でした。始めに渡辺会長から、今年は「23区支部」の当番校に当たるため板橋稲門会としては全員で取り組もうと挨拶があり、続いて飯田名誉顧問の乾杯で会食が始まりました。

前菜は鯛とサーモンのカルパッチョ、穴子のフリット、メイン料理は魚か肉を選べるようになっています。魚は鱸（スズキ）のソテー、肉はサーロインステーキでしたが、肉を頼んだ人が多かったようです。次はこの店ならではの「土鍋の炊き込みご飯」お新香付きとアサリの味噌汁、まるで居酒屋か定食屋のようです。デザートは洋梨のシャーベットにバニラアイス、最後にコーヒーまたは紅茶。

庭に射し込む陽光を眺めながら和やかな談笑と和洋折衷の料理を楽しみ、みなさん満足の笑顔を交わして散会となりました。

▼囲碁の会▲平成24年11月3日(土)

和気藹々で「囲碁の会」がスタート！

本年度より開催行事に「囲碁大会」を組み入れることとなり、第1回を11月3日(土)に和気藹々で開催しました。

①会の名称は、まだ少人数の参加者にて「囲碁の会」とする　②開催頻度は、1～2ヵ月に1回開催することとする　③会場は、少人数の内は当会斉藤会員邸の和室にて開催することとし、参加者が増えて来たら別の会場を考える　④今後の展開方法をPRして、多数の会員への参加を呼びかける（初心者の参加も大歓迎、インストラクターを付けることもPR）こととしています。

その後、2回目は12月1日(土)に開催、3回目は平成25年1月27日(日)に新年初打ち会として開催しました。新年度も引き続き斉藤友一さんに担当幹事をお願いすること、2～3ヶ月に1回開催すること、まったく囲碁を打ったことのない会員の参加も可ということで新規参加者を募集することも確認しました。

また、対局結果は記録として残し、各参加者の腕前向上の励みとすることも確認しました。

記・藤田　治

編集後記

最近の板橋稲門会の充実振りは目覚ましいものがあります。今年も会員の皆さまに喜んでもらえる活発な活動へ、ワーキンググループと事務局の連携で進展させていきます。大いに期待して、各種の企画にぜひご参加ください。

先ずは活動の源泉であり、原資となりますので、返信ハガキでのお返事と会費の納入を、どうぞよろしくお願いいたします。板橋稲門会 役員・事務局一同